

# 私たちの町の文化財

## ■第5話 尾崎の地蔵

現在、尾崎地蔵堂には木彫の地蔵坐像があります。古くから地元で大切に祀られ、例年地蔵祭りも開催されています。左脚を下げ右足を組んだその容姿は美しく、みる者を魅了する優品です。仏体の下には、墨書きの銘文があり、「地蔵尊願成寺本〇〇」「宝徳四年壬申卯月十日」などの記載があります。願成寺とは、現在の人吉市にある真言宗の寺院で、天福元年(1233)、相良長頼によって創建されました。銘文中に「願成寺本〇〇」とあることから、元々は願成寺の本尊であったとも考えられます。また宝徳四年(1452)という年号は、地蔵坐像がこの時期あるいは、それ以前に造られたことを示しているとみられます。

一方、『肥後国誌』には、谷尾崎に周蓮寺跡と呼ばれる寺院があった、という記載があります。また、この記述を裏付けるかのように、地蔵堂の周辺では、中世の土師器坏や小皿が発見されました。特に谷尾崎町舞足で調査された野添平遺跡では、中世の溝が発見され、もしかすると『肥後国誌』に記載された周蓮寺跡と密接に関連するのかもしれませんが、願成寺と周蓮寺の関係についての記録はありませんが、尾崎の地蔵は、願成寺から周蓮寺に伝わったとも考えられます。

謎の多い谷尾崎の寺院ですが、当時の繁栄を物語る証拠こそが尾崎の地蔵なのかもしれません。  
(熊本市文化振興課 藤島志考氏)

池上町平の地蔵寺も七百  
年代頃に創建されたらしい  
いし、どうしてこの辺り  
には昔から寺院が多かっ  
たのかな？

